

JSOI メールマガジンNo. 39（特別号）November 7, 2024

日本顎顔面インプラント学会ニューズレターならびにマスコミ報道に関して、公式の文書
(<https://www.shika-implant.org/shika/wp-content/uploads/2024/10/202410-1.pdf>
)

を送付した旨をメールマガジンNo. 36（特別号）にてお知らせいたしました。その後、
日本顎顔面インプラント学会理事長より本学会理事長宛に回答文書が届き、
(<https://www.shika-implant.org/shika/wp-content/uploads/2024/11/20241029.pdf>
)

理事会においてこの件についても速やかに全会員に伝達すべきとの判断がなされましたの
で、本メールマガジン特別号を送信することとなりました。
是非、お目通しいただき、本件についてご理解くださいますようお願いいたします。

広報委員会委員長 山森徹雄

（公社）日本顎顔面インプラント学会ニューズレターならびに

マスコミ報道に関する本学会からの申し入れに対する回答文書について

公益社団法人日本口腔インプラント学会
理事長 細川隆司

先日（10月28日）全会員に向け一斉送信されましたメールマガジンNo. 36（特別号）にお
いて
顎顔面インプラント学会から当学会に対する誹謗中傷が各種媒体に掲載されている件に対
し
て公式文書を発出したことをご報告させて頂きましたが、10月29日付の顎顔面インプラ
ン
ト
学会理事長名の回答文書が当会に届きましたのでご報告致します。
当学会としては、本件に関し顎顔面インプラント学会に対して『広告可能な専門医制度確
立
に向け、当学会に対する批判に傾注することなく、両学会の立場を尊重しつつ未来志向で
取
り組むよう』求めて参りましたが、先日（11月1日）京都で開催された第6回理事会におい
て、
この回答文書は概ね当会の要望に沿ったものであることを確認致しました。
会員の皆様におかれましては、新しい専門医制度への取り組みにおいて、日本顎顔面イン
プ
ラント学会との間に生じた問題に関して心配されている方も多いのではないかと思います
が、
私（理事長）と致しましては、今回の回答文書に加え、11月21日に日本歯科専門医機構に
お
いて両学会の理事長と専門医制度担当者での意見交換が行われることとなり、W Gでの協
議
も再開の方向で動き始めており、両学会の立場を尊重しつつ未来志向で広告可能な専門医
制
度の確立に向け取り組んで行きたいと考えています。

本件につきまして、取り急ぎ、このメールマガジン特別号にて進展状況をご報告申し上げ
ました。
広告可能な専門医制度に関する進展状況につきましては、今後、理事会や研修施設長会議
に
加えて、このような形でメールマガジンでもご報告させて頂きますので、
どうか、宜しく願い申し上げます。

編集長：山森徹雄（広報委員会委員長）
発行元：公益社団法人日本口腔インプラント学会広報委員会
〒108-0014 東京都港区芝4-3-5ファースト岡田ビル8F
<https://www.shika-implant.org/>
mail: jsoi@peace.ocn.ne.jp

※このアドレスは送信専用です。
配信停止/登録内容の設定変更は会員マイページよりお願いいたします。
賛助会員の皆様は事務局までご連絡ください。
<https://service2.kktcs.co.jp/jsoiweb/loginmember/>